

Nr.1 ドイツ語中級への足がかり：短編小説を読んでみよう 【初級・中級講読】

■内容

この講座は、ドイツ語の基礎的な文法事項を一通り学んだことがある方を対象としています。本講座では、子供向け作家の短編を読んで、ドイツ語の文法を復習しながら、ドイツ語でよく使われる表現を文脈の中で覚えることを目指します。

「ドイツ語の文法を一通り習ったけれど、ひとりでドイツ語の文章が読めるか自信がない」、「文法の学習が終わって、ドイツ語の学習を本格的に始めてみたいけれど、どこから始めたらいいかわからない」という方におすすめの講座です！

■教材

ドイツの子供向け作家 Ursula Wölfel (1922-2014) の *Die grauen und die grünen Felder* (1970) 『灰色の畑と緑の畑』を5日間かけて読み切ることを目標にします。この作品は1972年に国際アンデルセン賞の国内優秀作品に選ばれ、同年にオーストリアの「こどもと青年の文学賞 (Staatspreis für Kinder- und Jugendliteratur)」を受賞しています。この作品では格差の問題が扱われており、ふつうの子供向けの物語とは一味違った「ビターな」雰囲気の特徴的です。

一日あたり 300 語程度の文章を読みます。語彙集・注釈・和訳案をテキストと一緒に配布するので、事前にテキストを読んでからご参加ください。

■シラバス

1 日目：Ursula Wölfel, *Die grauen und die grünen Felder* ①

『灰色の畑と緑の畑』①

2 日目：Ursula Wölfel, *Die grauen und die grünen Felder* ②

『灰色の畑と緑の畑』②

3 日目：Ursula Wölfel, *Die grauen und die grünen Felder* ③

『灰色の畑と緑の畑』③

4 日目：Ursula Wölfel, *Die grauen und die grünen Felder* ④

『灰色の畑と緑の畑』④

5 日目：Ursula Wölfel, *Die grauen und die grünen Felder* ⑤

『灰色の畑と緑の畑』⑤

■講師紹介

池田圭佑（東京外国語大学博士前期課程1年）

専門はドイツ語の言語学で、「sein + zu 不定詞」構文を研究対象にしています。東京外国語大学言語文化学部ドイツ語専攻を卒業後、同大学院に進学しました。